肺動静脈奇形のカテーテル治療に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間:2023年1月6日~ 2023年6月30日

〔研究課題〕

肺動静脈奇形のコイルによる血管内治療において、何本のコイルが必要となるか

〔研究目的〕

肺動静脈奇形の治療に必要なコイル数を明らかにします。

〔研究意義〕

肺動静脈奇形は様々な合併症をもたらす肺の血管の病気で、カテーテルによるコイルを用いた治療が一般的です。この治療にどれほどのコイルが必要となりうるかは医療費や治療計画において重要ですが、これらを検討した研究はこれまでありませんでした。本研究によって治療に必要なコイル数を明らかにします。

〔対象・研究方法〕

2015 年 9 月から 2021 年 10 月までの間に当院にてカテーテル治療を受けた肺動静脈奇形の患者様が対象です。患者様の年齢・性別・経過観察期間、病変の場所・形状・大きさ、治療に用いたコイルの本数、体積、長さを電子カルテから抽出して検討します。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属病院 放射線科学講座

〔個人情報の取り扱い〕

個人が特定できないようにデータを加工し、厳重に管理します。

研究終了後に電子化したデータセット等を倫理委員会事務局に提出し、臨床研究センター

および放射線科学講座にて 10 年保管の後に廃棄します。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問い合わせ先

研究責任者:氏名 和田武 職名 助教

研究分担者:氏名 市木純哉 職名 医学部附属病院 非常勤医師

研究分担者:氏名 近藤浩史 職名 教授

所属: 放射線科学講座

住所: 東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL: 03-3964-1211 (代表) [内線 7785]